

Singakademie Tokyo

ジングアカデミー東京 第9回演奏会

Johannes Brahms Ein deutsches Requiem ドイツ・レクイエム

ほか

指揮 大島 博
オルガン 今井 奈緒子
独唱及び合唱 ジングアカデミー東京
ソプラノ独唱 星川美保子
バリトン独唱 中川郁太郎

2017.2.12 Sun.

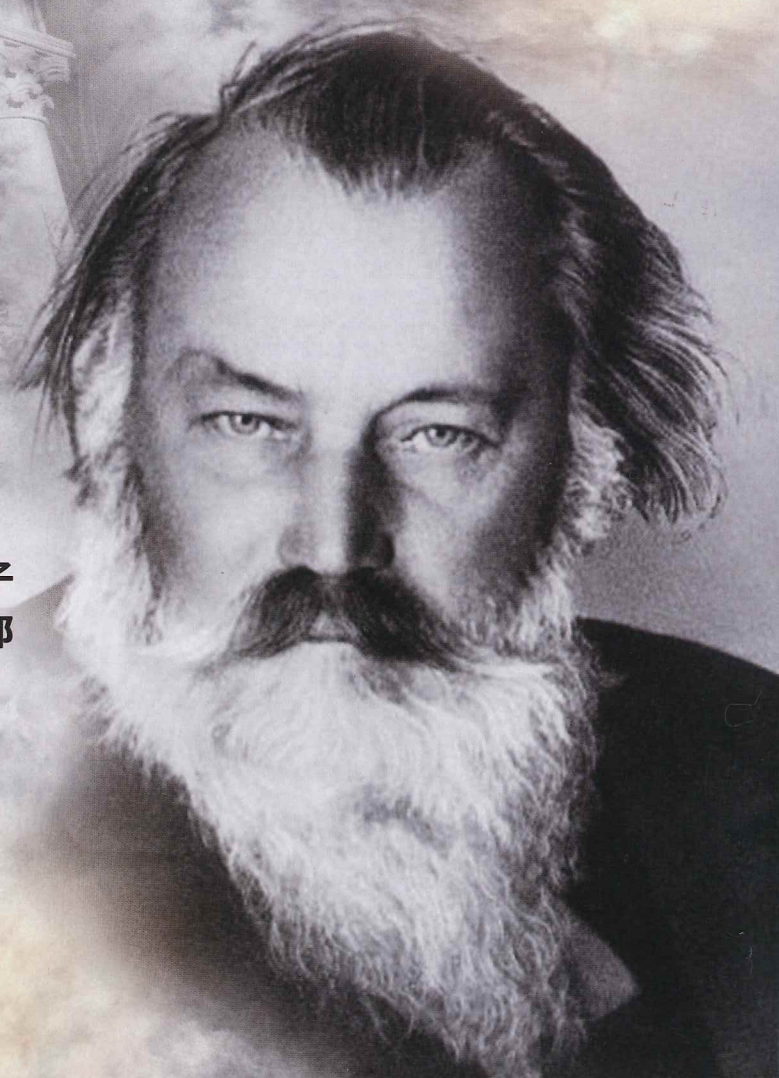
14:00開場 14:30開演

上野学園 石橋メモリアルホール

前売券 ¥3,000 / 当日券 ¥3,500

学生券 ¥2,500

お問い合わせ TEL/FAX 03(3351)0705 金子
singakademietokyo@gmail.com



オルガン伴奏による『ドイツ・レクイエム』

ヨハネス・ブラームス (1833-1897) の『ドイツ・レクイエム』は、彼の作曲家としての評価を決定づけた出世作であると同時に、宗教音楽の歴史の上でも最高峰の一つに数えられる彼の代表作です。合唱指揮者としても活躍したブラームスは、ルネサンス音楽から、バッハ、ヘンデルを経てメンデルスゾーンらのロマン派音楽にまで至る宗教音楽を熱心に研究しました。『ドイツ・レクイエム』にはその成果が盛り込まれています。

通常、「レクイエム」は、カトリックの典礼の内、特に「死者のためのミサ」において用いられるラテン語の式文をテキストとしているのですが、ブラームスは M. ルター訳のドイツ語聖書から自らの判断で歌詞を選び、教会の枠を超えた普遍的な祈りの音楽を生み出しました。友人に宛てた書簡の中で「ドイツの、ではなく人間の、と題名を変えてもいささかも問題は無い」と記していることは、この作品に対するブラームスの姿勢を如実に物語っていると言えるでしょう。

今回は、ブラームスの『レクイエム』を宗教的モテットの系譜の中に位置づけ、オルガンのみの伴奏で演奏することに致しました。加えて“ドイツ音楽の父”H. シュッツ (1585-1672) と、ブラームスと親交を結び、その影響の下に合唱作品を多数残した H.v. ヘルツォーゲンベルク (1843-1900) のモテットを配し、それらとの比較の内に『ドイツ・レクイエム』の魅力と特徴を、より鮮明に浮かび上がらせることが出来ればと考えております。

大島 博

今井 奈緒子 (オルガン)

東京藝術大学、ドイツ・フライブルグ音楽大学オルガン科を経て 1985 年ドイツ・ゲオルグ・ベーム国際オルガンコンクール、88 年ベルギー・ブルージュ国際バッハ・コンクールに入賞。日本各地におけるソロ活動のほか、経験豊かな通奏低音・アンサンブル奏者として共演者から信頼を得ている。ソロ CD に「シャイトのアラマンダ」「バッハ：クラヴィーア練習曲集第 3 部」「スウェーデン 7 つの付ルガン」「バッハのコーラルを歌う」(付録 CD) 等。バッハ・コレギウム・ジャパンの教会カンタータシリーズほか国内外での公演、CD 録音に数多く参加した。現在東北学院大学教養学部教授、大学オルガニスト、同宗教音楽研究所々長。日本キリスト教団霊南坂教会、西片町教会オルガニスト。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。

大島 博 (指揮)

熊本県生まれ。中央大学法学部卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。渡辺 高之助、高 丈二、原田 茂生、中山 佛一の各氏に師事。86 年、同大学院在学中にミュンヘン音大に留学、エルンスト・ヘフリガーに学ぶ。90-91 年 D. フィッシャー＝ディースカウに師事。95 年東京藝術大学大学院博士課程を修了。宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハの演奏者として定評がある。また、ドイツ・リート及び日本歌曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、自主企画によるリサイタルに加えて各地での客演も数多い。96 年からは「ドイツ・リートのためのしみ」と題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを継続中。近年は、さらに合唱指揮者、発声指導者としてもその活動の幅を広げている。立教大学大学院キリスト教学研究科特任教授。国立音楽大学、慶應義塾大学非常勤講師。

ジングアカデミー東京 (合唱)

大島 博の呼びかけにより、19 世紀ドイツで隆盛を誇った合唱音楽の研究、演奏運動に範を求め、さらに遠く「アカデミア (快樂)」の原義に戻って、「歌う快樂 (Singakademie)」を追求しようと 2009 年発足。各人が自立した音楽家として作品に取り組み、自由な雰囲気の中で有機的なつながりを持つ集合体として、完成度の高い音楽を作り上げることを目指しています。

これまでに H. シュッツ「マタイ受難曲」、F. リスト「十字架への道」、H. デイストラ「クリスマス物語」、F. マルタン「2 群の 4 声合唱のためのミサ曲」ハウエルズ「レクイエム」、マクミラン「ミゼレーレ」などを演奏してきましたが、今後も比較的演奏される機会の少ない佳曲に取り組んでいく予定です。

PROGRAMM

J. Brahms

Ein deutsches Requiem op.45

H. Schütz

Die mit Tränen säen SWV378

So fahr ich hin zu Jesu Christ SWV379

Selig sind die Toten SWV391

H. v. Herzogenberg

Selig sind, die da Leid tragen op.92,1

Herr Gott, du bist unsre Zuflucht op.92,2

Lobe den Herrn, meine Seele op.103,1

立教大学教会音楽研究所主催

レクチャー・コンサート

1月22日(日) 18:00開演

入場無料

立教学院諸聖徒礼拝堂
(立教大学池袋キャンパス内)

J. Brahms

Ein deutsches Requiem op.45 (抜粋)

ほか

交通アクセス

電車・地下鉄

JR 各線「上野駅」入谷改札より入谷口から 徒歩 8 分

東京メトロ・日比谷線/銀座線「上野駅」1 番出口より徒歩 8 分

バス

台東区循環バス<東西めぐりん (浅草方面)>

「上野駅・上野公園 (東京文化会館前)」より乗車、

「上野学園」にて降車、徒歩 0 分、行きのみ。

(めぐりん: 所要時間 10 分、15 分間隔で運行)

住所: 上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野 4-24-12 学校法人上野学園内

※駐車場はございません。お越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。

